

ホームページへの掲載	
2月17日	掲載予定

## 岐阜県立岐阜高等学校

学校長 南谷 清司  
 学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 岐阜高等学校学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- |     |        |                                   |
|-----|--------|-----------------------------------|
| 委員  | 江口 裕國  | 丹羽歯科医院長（校医）                       |
|     | 川添 美砂子 | 元PTA副会長                           |
|     | 後藤 栄一郎 | 後藤木材株式会社代表取締役社長                   |
|     | 杉山 万里子 | 地域住民 主婦                           |
|     | 村瀬 康一郎 | 岐阜大学教授 総合情報メディアセンター<br>(委員名は五十音順) |
| 学校側 | 南谷 清司  | 校長                                |
|     | 河田 誠   | PTA会長                             |
|     | 井上 幸治  | 事務部長                              |
|     | 居波 裕   | 教頭                                |
|     | 伊藤 崇   | 教頭                                |
|     | 高木 雅紀  | 教務主任                              |
|     | 久保田信孝  | 生徒指導主事                            |
|     | 市川 浩通  | 進路指導主事                            |
|     | 園部 利彦  | 学校活性化委員長                          |
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成29年2月8日（水） 13:30～15:30 岐阜高等学校 大会議室  
委員4人（1名欠席）と学校側9人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 授業見学
- (2) 学校長挨拶
- (3) 岐阜高校の現状と今年度の取組
- ア 本校の教育方針と教育活動について  
 本校は「生徒を育てる」観点を大切にして、様々な取り組みをしていますが、生徒一人一人の進路実現は学校としての目標の一つであります。岐阜県あるいは日本の将来を背負う医療関係者、弁護士、中央官僚、研究者などを育てる役割を果たすのが本校であろうかと思えます。いろいろな形で頑張っていきたいと思えますので、将来に向けたご助言、ご指導をよろしく願いいたします。
- イ 教務、学習指導について  
 選挙権年齢引き下げを受けて主権者教育の充実が必要とされ、講師を招いて職員研修会を行った。（主権者教育の実施状況については別紙資料P.8を参照。）  
 今年度より、学習成果が上がっていない生徒を対象に、補習授業やカウンセリング的な学習相談会を開始した。  
 来年度、大学入試改革に対応した指導についても研究も進めていく。
- ウ 進路指導について  
 教養を深める読書や大学講義動画の視聴などを通して、生徒が自分の興味関心を広げ、将来的な進路選択に役立つ企画を立案実行することができた。

確かで力強い学力の育成のために、成績上位層においてはたくましい進路意識の育成を図り、また成績下位層へは学力的・精神的な両面からきめ細かく手厚いサポートをする。そのためにも、教務、学年会、各教科と連携・協力してサポート体制を充実する。

エ 生徒指導について

交通事故減少、基本的な生活習慣の確立、適切な生徒支援、選挙に向けて主権者教育の充実の4つを柱として取り組んだ。

教育相談分野においては、問題を抱える生徒の指導を考えるケース会議の充実に努め、必要に応じてスクールカウンセラーや専門機関との連携を通して学年団と共にきめ細やかな対応を行うことができた。

オ 学校活性化について

3年間の県の研究指定を終わり、今年度から学校内の予算を使い事業を継続している。

今年特筆すべきことは、職業学問体験プログラムにおいて生徒主催の企画がいくつか実現したことがあげられる。

グローバルリーダー養成事業における活動が、生徒の進路実現に結びついたという成果も出た。(東京大学に2年連続推薦合格)

科学の甲子園、模擬国連大会への取り組みにも力を入れている。

テーマ 授業見学を踏まえての学校への提言、意見交換等
----------------------------

意見1 ・昔と比べると授業の内容は難しくなっているように思われる。指導方法も一方的な講義調であったが、現在の生徒はリベラルな指導方法で授業を受けている。習熟度別授業において劣等感なく参加できているのは良いことである。

意見2 ・毎回英語のティームティーチング授業を参観しているが、3年前より生徒の英語会話が自然になされている。小学校からの英語教育が浸透しているということだろうか。今後はこの流れが主流になっていくのだろうか。

・廊下がきれいに保たれていた。

・職業学問体験プログラムで生徒企画が実現していくのは素晴らしい。このように意識が高く、大学より先の将来を描ける生徒を育ててほしい。

意見3 ・授業は教員が手厚く指導しており、(自分の子供の時代と比べて)うらやましく感じた。

・アンケート結果の中で保護者への情報発信に関する項目の数値が低いのではないかと。

→今年度はメール配信の回数を増やした。スマホフリーデーの取り組みに対する保護者の協力依頼を配信したこともあった。

・特別活動部から今後は行事の精選を検討していくとの言葉があったが、せっかく作り上げてきたものは簡単になくさないようにバランスを考えて見直しをしてほしい。

意見4 ・少人数指導、習熟度別授業など生徒への細かい配慮がなされている。(自分の子供が在籍していた)15年前とは異なる。生徒同士が教え合ったり、先生に質問しやすい雰囲気があって好ましく感じた。

・職業学問体験プログラムで生徒企画のものがあるということで、勉強や部活動で時間がない中、積極的に自分の関心に向けて取り組めるのは良いことである。先生方の指導、方向付けが生徒たちを望ましい方向に向けさせている。このような取り組みは長い目で見て勉強よりも大切なことである。より多くの生徒が参加するようにしてほしい。

・戦争体験を聞くとか、原発や社会的な問題に関する話を聞くなどの体験プログラムも検討していったらどうか。

→イラク戦争後の現状や9.11テロの背景やその後の10年間を取り上げた映画「イラク、チグリスに浮かぶ平和」の上演を生徒たちが企画し、その映画監督を招いて講演をしていただいたこともあった。

・階段の踊り場に障害者用のキャリヤーが設置されていた。過去に障害を持った生徒が在籍したことはあったのか。

→そのような生徒はいなかったが、本校はバリアフリーの面で受け入れ設備は整っている。ただし、障害によってはマンツーマンでの介護が必要な場合もある。

6 会議のまとめ

校長:・本日はいろいろとお褒めの言葉をいただき恐縮しています。至らぬ点多々ありますので、  
精一杯努力していく所存です。今後ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。